

学会記事

本年度の日本フィッション・トラック研究会の活動は、まず6月30日に大阪大学基礎工学部シグマホールにおいて、ESR応用計測研究会と共催で研究発表会を開催した。フィッショントラック研究会からは、FT法をESR法やTL法の研究者に理解していただくための講演と一般講演を併せて11件の発表を行なった。その要旨は他の文献データとともに会員に配布した。この合同研究発表会を開催するにあたり、ESR応用計測研究会の池谷元伺会長には大変お世話になり、心から謝意を表します。

FT研究会独自の講演会は、つくば市の地質調査所別棟大会議室において、12月15・16日の両日にわたり、研究会としては初めての2日間の興行を敢行した。この講演会では、地質調査所の現在最も活動的な放射年代屋—宇都浩三、中島隆、茅根創・富樫茂子の諸氏から、それぞれK—Ar法、Rb—Sr法、C—14法についてご講演をいただき、さらに、各ラボの見学があり詳しい解説をしていただいた。これらの情報や体験は我々トラックカーに限りなく有意義であり感謝に絶えません。これらの手配を含め、今回の講演会の準備は角井朝昭会員のご尽力によるものである。

その他総会では、勧告案の活発な討議を行い、勧告の背景と要約を関連学会誌のニュースに掲載していただくことを決定した。また、わが国の標準試料選定のための第一歩として、候補岩石を数点選び希望会員に配布するシステムを確立した。希望者は同封の申込用紙を新会長にお送りください。

新役員は、会長松田高明、雁沢好博、角井朝昭、本多照幸、渡辺公一郎委員で、任期は2年間。

5月に実施したアンケートの結果は、1頁にまとめてこのニュースレターに掲載していますので、ご参照ください。

講演会初日の夕刻6時から、工業技術院厚生会館のレストランで、特別講演者を交え、賑やかな懇親会をもった。会員からは「せっかく旅費を出して参加するのだから、2日間興業と懇親会はぜひ定着させてほしい」とのご意見が多かったことを付記しておく。

参加者：会員21名（安間了、伊藤久敏、岩野英樹、大平寛人、糟谷正雄、雁沢妙博、角井朝昭、田上高広、竹内圭史、檀原徹、西村進、林正雄、原雄、本多照幸、升本眞二、松浦浩久、松田高明、水上香奈江、村松敏雄、山下透、渡辺公一郎）、会員外12名+ α ：宇都浩三・中島隆・茅根創・富樫茂子・原山智・金井豊・今井登（地調）、日野健・ギエム・カイヴブ（大阪市大）、谷下田雅之・田続由美子（三菱金属）、長谷部徳子（京大）